

## 何故、社長室を廃止し“さん付け運動”を開始したか…？

---

突然のことで唐突に感じられた方が居るかもしれませんが、この2月に社長室を取り壊し、皆さんと同じフロアに出ることにしました。既に、昨年11月からは、誰をも肩書き抜きで呼び合う“さん付”運動を開始しました。この二つの措置は、組織の垣根を極力低くすることで、会社全体のコミュニケーションを更に良くしたいのと、社員の全員が無用の境界を意識することなく平等観を持って仕事に臨めるようにしたいという私の思いからです。

会社というものは、多くの人間が集まってつくられています。それぞれの顔形が違うように、みんながその人にしかない個性をもち寄っているように、組織にもいろんなものがあります。全員が同じバスに乗って走るような組織もあれば、一人ひとりが自らの自転車を漕ぎながら目標に向かう組織もあります。しかし、組織という存在が、個々人が持つ力を最大限に発揮してもらう為の手段と理解するなら、如何なる組織であれ、無用の壁を感じたり、力の発揮を妨げるようでは、宝の持ち腐れになってしまいます。職場のみんなが持てる限りの力をぶつけていく為には、その組織に柔軟性がなければ駄目なのです。この柔軟性を保つには、真実と論理の前には上も下もなく、全てが平等であるということが必然的になります！

経営の本筋を全ての人々に判ってもらうことは困難なことです。言葉だけで全ての社員にパイプを通すことはできませんが、信頼関係が樹立できれば全員とのパイプになると信じています。組織全体に相互信頼を築きあげていくことは、決して、生易しいことではありません。まずは私自身から始めることで、徐々に広げていきたいと考えています。

人はよく、この命題を「信頼を相手に求める」ことにすりかえてしまいがちですが、そうでなく「信頼される自分になる」ことを考えるべきだと思います。相手よりも自分です。自分という一人ひとりから、相互信頼が育まれていくものだと理解し、意識的に行動に移してほしいと願っています。

大事なことは…

- ①相手の立場になってものを考える
- ②約束をきちんと守る
- ③言うことと行うことを一致させる
- ④結果をこまめに連絡する
- ⑤相手のミスを積極的にカバーする

謙虚な反省の上に立って、素直に実践して行けば相手も感応してくれるはずです。やはり、組織を効率的に動かして行くのは、信頼関係の樹立が一番なのです。



社長も部長も  
みんな  
「さん」だよ！

#### ワンポイントアドバイス

お互いの信頼関係を築き上げ、  
「自責で捉え、自ら考え、自ら行動する」と実践  
明確な職場を創りましょう。